



● 建造物の安全を診守るために



コンクリートはほとんどの建造物の主要材料として使われ、一般の人々にとっても最も身近な土木建築用構造材料のひとつです。どんなに強靱なコンクリート建造物であっても、環境負荷による劣化は避けることはできません。また、耐震性や災害時におけるコンクリート建造物の安全性確保や経年劣化に対する問題は、社会インフラ全体にとって大きな課題となっています。

「東京コンクリート診断士会」は、貴重な財産であるコンクリート建造物の安全性を維持するために、コンクリートの診断・維持管理技術の向上に努めています。

私たちの重要な使命

1. コンクリート診断士業務の進歩・改善
2. コンクリート診断士の技術力向上
3. 最新技術、最新情報の入手と提供
4. 行政や関係各団体への協力
5. コンクリートの診断・維持管理に関する相談対応
6. コンクリート診断士の社会的地位の向上
7. コンクリート診断・維持管理講習会等への講師派遣

■「コンクリート診断士」とは

(公社)日本コンクリート工学会 (JCI) が認定する資格で、「コンクリートおよび鉄筋等の診断、判定、ならびにそれらの品質劣化に関する予測および対策等を実施する能力のある技術者」と定義されており、既存のコンクリート建造物の劣化の程度を診断し、維持管理の提案を行うために必要な幅広い知識や高い技術を保有する者に与えられます。

TCD 東京コンクリート診断士会

TCD 東京コンクリート診断士会

私たちの主な活動

「東京コンクリート診断士会」は、広く社会に貢献することを目的に、偏りのない公正な立場で活動を展開しています。

(1) 会員間の技術交流および情報交換、会員の知識および能力向上のための次の活動を行っています。

■ 講習会開催

1年に2~3回、会員、非会員より最新の情報等について講演し、会員相互の情報交換を行っています。

■ 見学会開催

コンクリート構造物の維持管理に関係する現場の見学
見学会後には技術交流、情報交換を行っています。

(2) 最新技術情報の収集と提供を行っています。

■ 会員からの情報提供

■ 技術部会での情報収集

■ ホームページを通じて最新情報の提供

(3) 官公庁他への診断士制度のPR活動を行っています。

(4) 各地区の診断士会との情報交換を行っています。

(5) (一社)日本コンクリート診断士会の一員としての活動を行っています。



技術セミナー風景



現地見学会



高架橋の劣化

「東京コンクリート診断士会」について

本会は、主に東京および東京近郊に勤務または在住のコンクリート診断士で構成される第三者的立場の団体です。官、学、設計・調査会社、施工会社、生コン業界など、幅広い分野の技術者たちが参加しています。なお、当会の会員は、(一社)日本コンクリート診断士会の個人会員となります。

■ 組織構成

会員数：175名
(令和3年4月現在)



■ 入会随時受付中

会 員／正会員、学会会員、学生会員、法人会員

賛助会員、学生賛助会員

年会費／正会員・賛助会員：4,000円

学生会員・学生賛助会員：2,000円

法人会員：A30,000円、B20,000円、C10,000円

※東京近郊以外の方でも、入会に制限はありません。

「入会申込書」は、本会のホームページよりダウンロードしてください。

■ 問合せ先

東京コンクリート診断士会事務局

東京都新宿区早稲田鶴巻町 565

鶴巻品質センター内

FAX：03-6380-2404

E-mail：tcd@candr.jp

<http://www.tcd-net.com/>

関連組織

(一社)日本コンクリート診断士会

E-mail：info@jcd-net.or.jp

<http://www.jcd-net.or.jp>

